

ゆたかな経験
と実績もとに

子育て、くらし、津浪防災対策に全力

赤松まさひろは約束します 4つの提案



子どもの
健康・保育

中学卒業まで医療費を無料に！
保育園を増設し、待機児を解消します

4年前、小学校6年生まで医療費が無料になった時、中学3年生まで順次すすめていく計画でした。ところが、松尾市長になり「事業仕分け」でこの計画が白紙にされてしまいました。県内では、2市

5町1村が実施しており、鎌倉でも早期実現に全力を尽くします。また、絶対数が足りない保育園は、今年も40人もの待機児が生まれました。特に鎌倉地区が不足しており、由比ガ

浜の鈴木・今井邸跡地の計画を早急に実現するようとりくみます。



通学費補助

稲村小、御成中通学交通費に補助を

通学定期利用者数('08.10)	
小学校	110名 うち稲村小 60名
中学校	240名 うち御成中 86名

通学定期代			
区間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月
稲村ガ 崎～ 和田塚	5,660 円	16,130 円	30,560 円

通学距離が文部省基準を超え、交通安全上などから江ノ電を利用していている児童・生徒は少なくありません。江ノ電はJR、小田急より割引率は低く、2～3人お子さんが利用していると負担も大変です。赤松議員は、「葉山町ではバス定期代に助成しており、

鎌倉でもできないはずはない。」と強く要望しました。教育委員会は、「就学援助制度などを活用、検討します。」と約束しました。



津波
防災対策

災害情報難聴地域解消
避難場所指定地域拡大やルートの整備

南関東地震で8m(坂ノ下)、明応型で12・9mの津波が予想されており、津波防災対策は住民の切実な願いです。

赤松議員は、長谷5丁目、極楽寺馬場ヶ谷、西ヶ谷、腰越3丁目に防災行政無線を設置、難聴解消に尽力、さらに笹目地域などへの設置に取り組んでいます。

また、坂ノ下の海沿いの地域や笹目地域などでは、文学館、長谷寺、光則寺以外にも、避難場所として霊仙山、御成中グラウンドに新たなルートを整備することなども市と検討しています。さらに、材木座からスタートした避難ルートの路面シートを海沿いの全域に広げるようとりくんでいます。



世界遺産に恥じない
まちづくりを

市内各所で、狭い道のところらにまで開発計画が押しよせています。市の「みどりの基本計画」で保全配慮地区になっているのに、鎌倉山では樹木が全部伐採されました。赤松議員は、さらに条例改正を提案。「世界遺産をめざすにふさわしいまちづくりを」と、市民とともにたたかっています。

鎌倉山2丁目の開発現場

日本共産党鎌倉市会議員

赤松まさひろの市政報告

メール info@jcp-kamakura.jp.

2013年3月
長谷2-7-4
☎・FAX
22-9944



市民とともに
40年

実現してきました 安全・安心のまちづくり、地域の要望

さらに住みよい鎌倉をめざしてがんばります



日本共産党鎌倉市会議員

赤松まさひろ

市議会建設常任委員長
鎌倉市都市計画審議会委員

お困りのこと、地域の身近な問題など、何でもお気軽にご相談ください。



線路沿いの道路拡幅（稲村ガ崎）



海岸利用者に津波情報盤設置（由比ヶ浜）



階段整備と手すり設置（佐助）



第一小学校区子ども会館・
子どもの家設置



長谷、極楽寺、腰越などの
防災無線の設置



極楽寺駅～桜橋間の歩車道拡幅



道路舗装、側溝整備（佐助）



長谷5丁目にカーブミラーを設置